

心の病と障害

～心の時代の福音～

2023/1/15

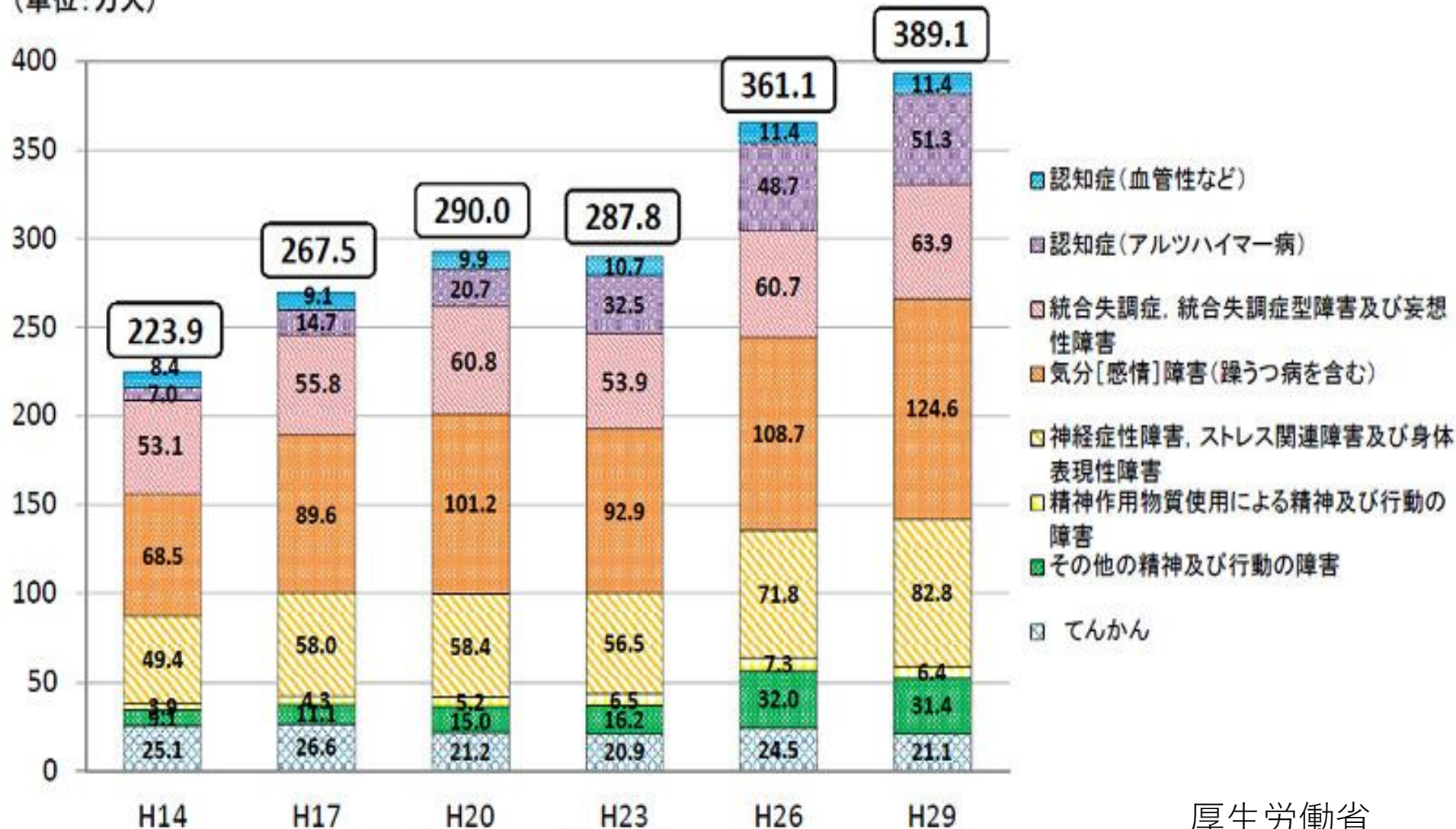
心の病と悪霊

～心の時代の福音～

2023/1/15

精神疾患を有する外来患者数の推移

(単位: 万人)



※H23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いている

心の病(障害)

精神病
(障害)

人格
障害

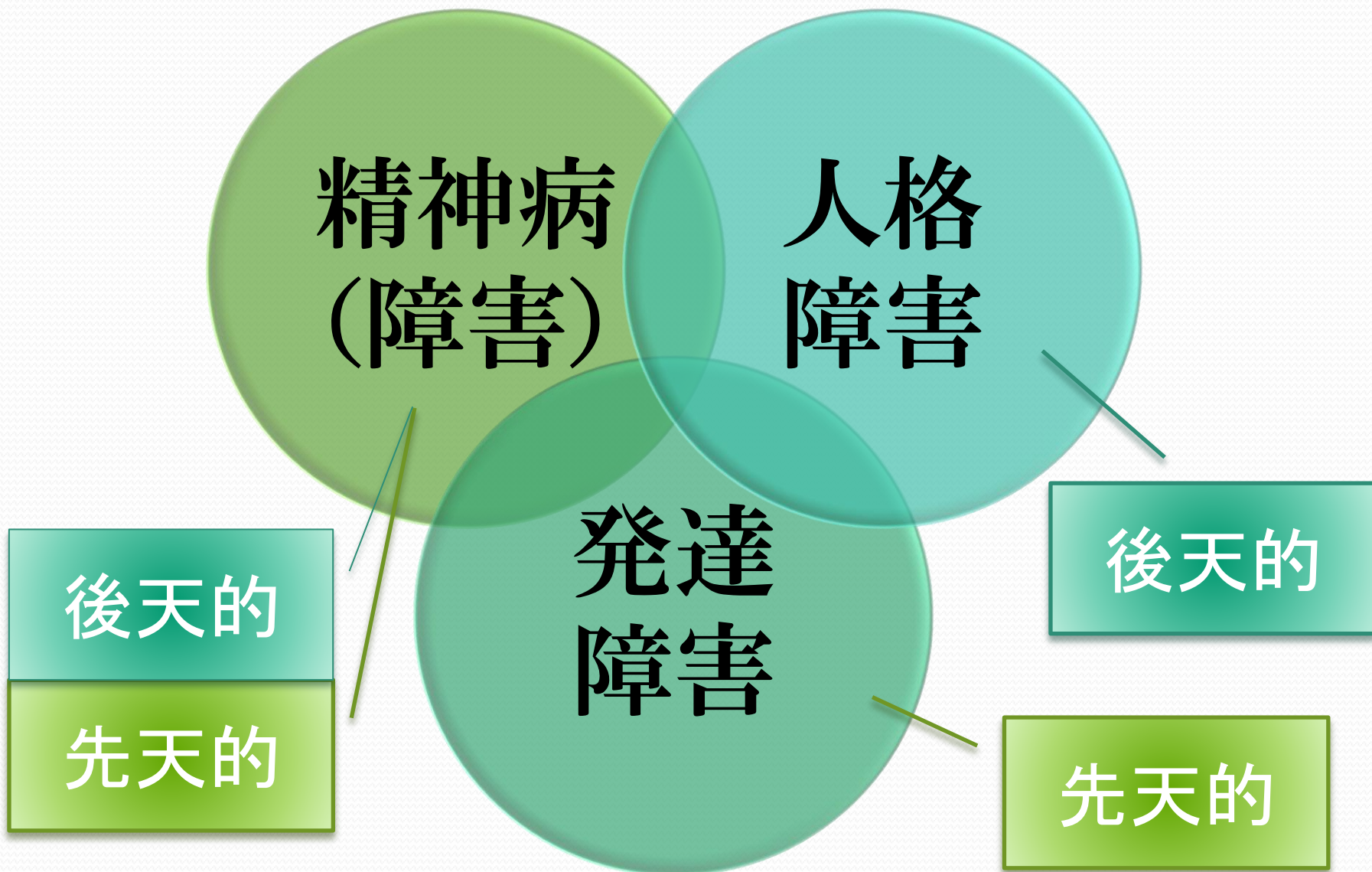
発達
障害

後天的

先天的

後天的

先天的



精神病(障害) [ICD-10(国際疾病分類)による]

- 器質性精神障害

- 認知症(アルツハイマー型・血管性)

- 物質関連障害

- 薬物依存・アルコール依存・ニコチン依存

- 精神病性障害

- 統合失調症(精神分裂病)

- 気分障害

- 双極性障害(躁うつ病)・うつ病

- 神経症性障害・身体表現性障害

- 不安障害・強迫性障害・解離性障害・恐怖症・PTSD
- 解離性障害・性同一性障害

- その他

- 節食障害・睡眠障害

発達障害

- 自閉症
- 注意欠如多動性障害(AD／HD)
 - 不注意・多動性・衝動性を特徴とする行動障害
 - アメリカでは発症率7%
- 自閉症スペクトラム障害(ASD)
 - 広汎性発達障害(PDD)・アスペルガー症候群
 - 「三つ組の障害」: 社会性・コミュニケーション・想像力の欠如
- 学習障害(LD)
 - 特定の学習の習得と使用に著しい困難
- 6. 5%(2012年文科省)

パーソナリティ(人格)障害

• 人格障害とは

- 社会生活に障害を来すほどの性格の偏り
- 青年期に始まり, その人格が安定している
- 本人の自覚がなければ治療は困難

• 人格障害の種類

- 統合失調系:「妄想性」「分裂病質」「分裂病型」
- 性格障害系:「反社会性」「境界性」「演技性」「自己愛性」
- 神経症系:「回避性」「依存性」「強迫性」

悪霊についての記述

セレーニアゾマイ：
「月に打たれる」の意

• マタイ福音書

- 「そこで、イエスの評判がシリア中に広まった。人々がイエスのところへ、いろいろな病気や苦しみに悩む者、悪霊に取りつかれた者、てんかんの者、中風の者など、あらゆる病人を連れて来たので、これらの人々をいやされた。」(マタイ4:24), 8:16, マコ1:34,39, ルカ7:21など

• 特定されるケース(福音書)

- ① 会堂にいた男
- ② 目が見えず口がきけない人
- ③ カナン人の女の娘
- ④ 何度も倒れる息子
- ⑤ 墓場にいた男

悪霊についての記述(個別)①

• 会堂にいた男(マルコ1:21-28, ルカ4:31-37)

- 「そのとき、この会堂に汚れた霊に取りつかれた男がいて叫んだ。『ナザレのイエス、かまわないでくれ。我々を滅ぼしに来たのか。正体は分かっている。神の聖者だ。』イエスが、『黙れ。この人から出て行け』とお叱りになると、汚れた霊はその人にけいれんを起こさせ、大声をあげて出て行った。」

• 特徴

- イエス様のことを知っている(神の聖者)
- イエス様を恐れている
- 会話が成立する

悪霊についての記述(個別)②

- 目が見えず口がきけない人(マタイ9:32-34, ルカ)
 - 「そのとき、悪霊に取りつかれて目が見えず口の利けない人が、イエスのところに連れられて来て、イエスがいやされると、ものが言え、目が見えるようになった。」(マタイ)
- 症状
 - 目が見えず、口がきけない

悪霊についての記述(個別)③

- カナン人の女の娘(マタイ15:21-28, マルコ7:24-30)

- 「すると、この地に生まれたカナンの女が出て来て、『主よ、ダビデの子よ、わたしを憐れんでください。娘が悪霊にひどく苦しめられています』と叫んだ。」(マタイ)

- 症状

- 具体的な症状の記述はない

悪霊についての記述(個別)④

- 何度も倒れる息子(マタイ17:14-21, マルコ9:14-29, ルカ9:37-43)

- 「群衆の中のある者が答えた。「先生、息子をおそばに連れて参りました。この子は霊に取りつかれて、ものが言えません。霊がこの子に取りつくと、所かまわず地面に引き倒すのです。すると、この子は口から泡を出し、歯ぎしりして体をこわばらせてしまいます。」(マルコ)

- 症状

- 口がきけない・所かまわず倒れ、泡を出し、歯ぎしりして体をこわばらせる

悪霊についての記述(個別)⑤

・墓場の男(マタイ8:28-34, マルコ5:1-20, ルカ8:26-39)

- ・「イエスが舟から上がられるとすぐに、汚れた霊に取りつかれた人が墓場からやって来た。この人は墓場を住まいとしており、もはやだれも、鎖を用いてさえつなぎとめておくことはできなかった。これまでも度々足枷や鎖で縛られたが、鎖は引きちぎり足枷は砕いてしまい、だれも彼を縛っておくことはできなかったのである。彼は昼も夜も墓場や山で叫んだり、石で自分を打ちたたいたりしていた。イエスを遠くから見ると、走り寄ってひれ伏し、大声で叫んだ。『いと高き神の子イエス、かまわないでくれ。』

悪霊についての記述(個別)⑤

- ・後生だから、苦しめないでほしい。』イエスが、『汚れた霊、この人から出て行け』と言われたからである。そこで、イエスが、『名は何というのか』とお尋ねになると、『名はレギオン。大勢だから』と言った。そして、自分たちをこの地方から追い出さないようにと、イエスにしきりに願った。」(マルコ)

・症状

- ・狂暴・叫び・自傷行為

・特徴

- ・多くの悪霊に取り憑かれている
- ・イエス様を恐れる・成立する会話

特定されるケースから言えること

• 症状

- 不明: ①・③
- 目と口が不自由: ②
- 何度も倒れる: ④(てんかん症状?)
- 狂暴・叫び・自傷行為: ⑤ > ~~重篤な統合失調症?~~

• 特徴

- 会話が成立する
- イエス様が誰か知っている
- イエス様を恐れる

悪霊と精神病の関連を
説明する箇所はない！

悪霊か精神病か？

1. 宗教に引きつけられるか嫌悪するか
2. 非論理的な発言か論理的な発言か
3. 学習した知識か超自然的な知識か
4. 単純な異常行動かオカルト的な現象か
5. 経験者談

- 悪霊の憑依だとみなされている精神病はほとんどそうではない

6. 治療効果

- 薬によって治るか、祈りによって解決するか

“Strength for his People: A Ministry for Families of the Mentally Ill”
Dr. Steven Waterhouse, Westcliff Press

狂犬病(恐水病)

• 恐ろしい病気

- 現在でも毎年6万人の死者(アジア・アフリカ)
- 致死率ほぼ100%
- 日本では1957年に撲滅された
- 「狂犬病ウィルス」による

• 症状

- 興奮や不安状態、錯乱・幻覚、攻撃的状态、水を怖がるなどの脳炎症状

確かに悪霊に取り憑かれたケースと、何らかの病気を悪霊に取り憑かれたとみなされたケースがあったのではないか(堀川説)

本当に恐れるべき方

• 悪霊さえも恐れた

- 「悪霊もわめき立て、『お前は神の子だ』と言いながら、多くの人々から出て行った。イエスは悪霊を戒めて、ものを言うことをお許しにならなかった。悪霊は、イエスをメシアだと知っていたからである。」(ルカ4:41)

• 解放された者の役目

- 「悪霊どもを追い出してもらった人が、お供したいとしきりに願ったが、イエスはこう言ってお帰しになった。『自分の家に帰りなさい。そして、神があなたになされたことをことごとく話して聞かせなさい。』**その人は立ち去り、イエスが自分にしてくださったことをことごとく町中に言い広めた。**」(ルカ8:38-39)